

Spoken
Words
Project
exhibition

青春と服

2013.7.15 [月・祝] ~ 8.11 [日]
Gallery Kart
SPOKEN WORDS PROJECT 展

spoken
words
project

Gallery
Kart



撮影：志鎌康平／写真提供：東北芸術工科大学



服が生まれるとき

ことばと布、

ライブセッションとしての服づくり

このたびGallery Kartでは、河合塾美術研究所出身でファッションデザイナーとして活躍されている飛田正浩さん主宰のブランドspoken words projectの活動と、その一環で行われるワークショップを紹介する展覧会を開催します。

飛田さんは多摩美術大学在学中より「ことば」をテーマとした制作、イベント、バンドによるライブなどを広く精力的に行うなかで、その総称としてspoken words projectを活動名として用いてこられました。その後服づくりに没頭する中で、ファッションブランドとしてその名称を継承し今日に至ります。

飛田さんの服づくりは、それゆえ「ことば」である素材との対話が重視され、布の自作や作品の完成間際の再加工など、一般的な服の制作過程とは異なり、アートともいえるアプローチをされていることが特徴です。そしてその「ことば」は、現在ワークショップや舞台衣装の制作にまで広がり、今後布から生まれるすべてのものに展開されてゆくことでしょう。

今回は主にシルクスクリーンによるspoken words projectの作品、ビジュアルブック、DM、ショーの動画に加え、河合塾生を中心に行われる、不要となった衣類などを持ち寄り、シルクスクリンによる即興プリントで再生、リ・デザインするワークショップの成果をあわせて展示します。

時に予定から外れ、詩人が緊張を強いられながら即興で朗読するような「青春」のライブ感を、飛田さんは大切にされています。そのような感性あふれる本展示を、ぜひ、ご覧ください。



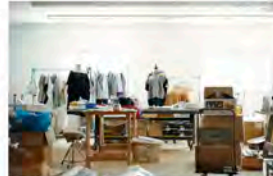
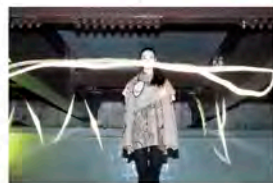
2013.7.15「月・祝」～8.11「日」
Gallery Kart
10時～18時（日・最終日は16時まで）
入場無料

青春と服

SPOKEN WORDS PROJECT 展

飛田正浩 Masahiro Tobita

1968年、埼玉県生まれ。多摩美術大学卒業。染織デザイン科在学中からさまざまな表現活動を(spoken words project)として行う。卒業を機に(spoken words project)をファッションブランドに改め、1998年東京コレクションに初参加。手作業を活かした染めやプリントを施した服作りに定評がある。クラムボンの原田郁子さんをはじめとして、アーティストのライブ衣装や舞台美術、テキスタイルデザインも手がけ、ファッションの領域を超えて活動中。2012年には、東北支援の一環で行われたワークショップ、「キッズアートキャンプ山形2012」に招聘される。



1. キッズアートキャンプ山形2012
2. SHIBAURA HOUSE 社員制服
3. spoken words project アトリエ
※他写真はspoken words project コレクションより



〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-14-5
河合塾美術研究所新宿校1階
☎ 0120-327-414

河合塾美術研究所 監
www.kawai-juku.ac.jp/geidai/